

「とどろき学習室・よこはま学習室」は、東日本大震災・熊本地震を受け、都会で生活を送る東北および熊本の中高生のみなさんのための学習支援プロジェクトです。ピクニックやクリスマス会、大学キャンパス案内なども行っています。参加は無料です。一緒に勉強しよう！



大学生による都会で生活を送る
東北および熊本の子どもたちのための学習支援

「とどろき学習室」 「よこはま学習室」 のご案内について

お気軽に
代表鈴木までお問い
合わせください。

対象：東北および熊本の中学生・高校生（小学生は行き帰りの安全確保等について応相談）

参加費用：無料

内容：①学校授業や受験のための学習支援、②ピクニックやクリスマス会などのイベント

参加大学生：慶應義塾大学、東京大学、横浜国立大学、早稲田大学、上智大学など

学習室は、2011年4月末、川崎市中原区のとどろきアリーナ避難所にて学習室を開設したのが始まりです。東北の子どもたちに「未来」のバトンを渡すため、横浜市と川崎市で継続実施しています。

「とどろき学習室」

開催日：毎週木曜日と土曜日 18:30-20:30

場所：新丸子子ども文化センター
(川崎市中原区新丸子町 691-7)



「よこはま学習室」

開催日：毎週火曜日 18:30-20:30 と
毎週土曜日 15:00-17:00

場所：横浜市西区福祉保健活動拠点
(横浜市西区高島 2-7-1 ファーストプレイス横浜 3階)



【学習室 HP】 http://g-edu.kmd.keio.ac.jp/todoroki_school/index.html

【問合せ】 香川大学地域連携戦略室特命准教授／慶應義塾大学メディアデザイン研究所リサーチャー
鈴木健大（すずきたけひろ）

メール：shonancafe134@gmail.com 電話：080-5645-6924

特別協力：慶應義塾大学商学部牛島利明研究会／慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科大川恵子研究室

「とどろき学習室・よこはま学習室」について

東北の子どもたちの未来を一緒につくる「学びの場」、「第二の家」です。



左：2016年2月「よこはま学習室」、中：2015年12月「クリスマス会」、右：2015年8月「宮城県東松島市矢本運動公園仮設住宅集会所」

1 学習室内容（平成28年5月31日現在通算768回開催）

（1）大学生による学校授業の補習や受験勉強のサポート

- ・大学生・大学院生一人に対して、子ども2、3人くらいの学習対応
- ・高校・大学受験対策（夏季講習、模擬試験、模擬試験講習会、模擬面接の実施等）

（2）ピクニック、クリスマス会、高校合格祝、大学キャンパス案内などイベントの実施

（3）夏期休暇における東北現地の子どもたちの学習支援（平成24年度～）

- ・平成27年8月：[宮城県東松島市・石巻市] 仮設住宅集会所、中学校等10箇所で開催、のべ5日間、大学生21人、のべ607人の小中学生・高校生が参加

2 参加児童生徒（平成28年5月31日現在）

岩手県・宮城県・福島県から

「とどろき」小学2年生から高校3年生、計9人

「よこはま」小学2年生から高校3年生、計31人

3 参加ボランティア学生（平成28年5月31日現在）

東京大学大学院（1人）、慶應義塾大学大学院（1人）、
慶應義塾大学（9人）、東京大学（1人）、横浜国立大学（4人）、東京学芸大学（1人）、
横浜市立大学（1人）、首都大学東京（1人）、
早稲田大学（2人）、上智大学（3人）、青山学院大学（4人）、中央大学（1人）、
明治大学（1人）、駒澤大学（1人）、日本大学（1人）、
東京理科大学（1人）、東京農業大学（1人）、
鎌倉女子大学（1人）、日本女子大学（1人）、学習院女子大学（1人）、
計37名 ※このほか、卒業生21名が継続参加

4 学習室の運営

大学生たちが中心になって企画運営しています。また、図書カードの寄付を募ったり、助成金を得たりして、運営費用の一部に活用しています。また、ネットワーク「守りたい・子ども未来プロジェクト」と連携した支援活動も行っています。

香川大学地域連携戦略室特命准教授／慶應義塾大学メディアデザイン研究所研究員
鈴木 健大（すずき たけひろ）

メール：shonancafe134@gmail.com 電話：080-5645-6924